

第 22 回日本歯科医学会総会

国際セッションシンポジウム 2 (IS002)

このシンポジウムは米国、東南アジア、日本の審美歯科学会からの、最小限の介入で最大の効果が期待できる審美修復テクニックについての講演です。米国前会長 Hugh D. Flax 先生による ErCr: YSGG レーザー（ウォーターレーズ）を使用した Closed flap technique の歯肉整形術、アジア現副会長（ネパール現会長）Sushil Koirala 先生による MICD（Minimally Invasive Cosmetic Dentistry）を駆使した数々の臨床例、そして日本の現会長、千田 彰教授によるインジェクタブルレジンを用いた歯冠修復、いずれも必見のテーマです。ぜひご参加ください。

セッションテーマ：笑顔の審美とミニマル・インターベンション —あすにむけて—

Minimal Intervention in Smile Esthetics —The Future Trend—

日 時：平成 24 年 11 月 10 日（土）14:00～17:00

会 場：大阪国際会議場 国際セッション会場（特別会議場）

内 容：

講演 1 Laser Dentistry—the Future Has Arrived for Cosmetic Dentistry

（レーザー歯学—審美歯科の世界に未来が到来した）

Hugh D. Flax（米国歯科審美学会〔AACD〕前会長）

講演 2 Enhancing Smile with MICD Clinical Techniques

（よりよい笑顔を得るための MICD 臨床テクニック）

Sushil Koirala（アジア歯科審美学会〔AAAD〕副会長）

講演 3 Esthetic Composite Bonding - A New Concept, Injectable Resin Technique

（接着性審美レジン修復—インジェクタブルレジンを用いたあらたな概念）

千田 彰（日本歯科審美学会会長、愛知学院大学歯学部）

モデレーター：山本一世（日本歯科審美学会常任理事、大阪歯科大学）